

# グランダファイナー10

グランダファイナー10は、リン酸亜鉛皮膜化成の表面調整として、浸漬またはシャワースプレーで用います。グランダファイナー10は、液体で従来の技術であるチタンコロイドを全く使用しない新しい表面調整剤であります。

## 1. 特 長

- ① リン酸亜鉛皮膜の結晶が均一微細になります。
- ② 皮膜化成時間が短縮できます。
- ③ 処理液の経時安定性が良い。
- ④ 処理液に使用する工業用水(硬水)の影響を受けにくい。
- ⑤ 黒皮材、ハイテン材、アルミニウム合金等の難化成材のリン酸亜鉛皮膜化成性が向上する。
- ⑥ 製品が液体ですので、補給等の作業が容易である。

## 2. 建浴方法

グランダファイナー10を建浴するには、処理液1,000Lについて次の割合で建浴します。

グランダファイナー10	2.0~3.0 kg
グランダR-205	0.6 kg
水	残り
<hr/>	
1.000L	

処理槽に約900L水を入れ、よく攪拌しながらグランダR-205を投入します。次に、グランダファイナー10を別容器であらかじめ3~5倍量の清水に均一に分散させてから処理槽に投入して下さい。使用工水の水質、また目標とする皮膜質量と結晶サイズによって建浴濃度を加減して下さい。

## 3. 処理液の管理

グランダファイナー10の濃度は、処理を続けていくと持ち出し等により消費されますから、濃度を測定し不足分を補給しなければなりません。

<b>管理条件</b>	
トータル濃度	2.6 ~ 3.9 ポイント
P H	8.5 ~ 11.0
処理温度	常温
処理時間	10秒以上

### 3-1. トータル濃度の測定

- ① 処理液をホールピペットで10ml採取し、ビーカーに移します。
- ② 10%塩酸を1~2滴加え攪拌します。

- ③ PH5緩衝液を駒込ピペットで5mL加え攪拌します。
- ④ 指示薬キシレノールオレンジを2～3滴加えます。
- ⑤ 0.01mol/L EDTAを用いて処理液が赤紫色から黄色に変色したところを終点とし、その所要ml数がトータル濃度のポイントです。

### 3-2. PH値の測定

PHメーターで測定します。

## 4. 補給と調整

$$\text{グラنداファイナー10の補給量 (kg)} = 0.77 \times (P_0 - P) \times V$$

$P_0$  : 標準ポイント

$P$  : 測定ポイント

$V$  : 処理液量 (m<sup>3</sup>)

トータル濃度0.1ポイント上昇させるには、処理液量1.000Lに対して、グラنداファイナー10を77g補給して下さい。また、グラنداファイナー10補給時に、建浴時のグラنداファイナー10に対する比率と同じ比率となる量のグランダーR-205（またはグランダーR-205B）を補給して下さい。

尚、グランダーR-205及びグランダーR-205Bは、グラنداファイナー10処理液のPH推移により使い分けます。表面調整PHの低下し易いラインは建浴時のみグランダーR-205を使用し、通常の補給にはグランダーR-205Bを使用することをお奨めします。

またPHが8.5以下になった場合は、グランダーR-25を添加してPHを調整して下さい。

## 5. 処理液更新

処理液は、通常時間の経過とともに老化し、効果が減少してきます。老化した処理液にグラنداファイナー10を補給しても効果がありませんので、その時は、処理液を廃棄し、更新して下さい。

## 6. 装置材料

メンテナンス及び耐久性の点から、ステンレス鋼（SUS304）製を推奨します。

## 7. 製品の荷造外観

グラنداファイナー10	ポリコン	20kg
グランダーR-205	ポリコン	20kg
グランダーR-205B	ポリコン	20kg

資料No.210512



**ミリオン化学株式会社**

本社 大阪府吹田市広芝町12-41 TEL 06(4861)8512  
営業所 関東・名古屋・大阪・西日本(岡山・福岡)